

平成 29 年度

### 1 自己評価及び外部評価結果

**【事業所概要(事業所記入)】**

事業所番号	0272501347		
法人名	社会福祉法人誠友会		
事業所名	グループホームいこいの森		
所在地	〒039-2187 青森県上北郡おいらせ町緑ヶ丘一丁目50-2077		
自己評価作成日	平成29年9月20日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。(↓このURLをクリック)

基本情報リンク先	
----------	--

**【評価機関概要(評価機関記入)】**

評価機関名	公益社団法人青森県老人福祉協会		
所在地	〒030-0822 青森県青森市中央3丁目20番30号 県民福祉プラザ3階		
訪問調査日	平成29年10月20日		

**【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】**

<p>○住み慣れた地域でありのままで自由に、残された力を活用しながら生活の中で役割や楽しみを持って生活ができるよう支援しています。また希望を出来るだけ取り入れて個別の外出支援や行事を実施しています。</p> <p>○近隣の保育園や小中学校、町内会などの交流が幅広い世代の出会いを生み、認知症の理解を深める活動になっています。</p> <p>○訪問看護師が週1回、健康管理を行う体制にあるほか、24時間の医療連携体制や終末期・重度化に対する指針を整え、それぞれの家族や本人の希望に応じた最善のケアを提供できるように取り組んでいます。</p>
---

**【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】**

<p></p>
---------

**V. サービスの成果に関する項目(アウトカム項目) ※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します**

項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印	項目	取り組みの成果 ↓該当するものに○印
56 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目:23,24,25)	○ 1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんど掴んでいない	63 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている (参考項目:9,10,19)	○ 1. ほぼ全ての家族と 2. 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
57 利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目:18,38)	○ 1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目:2,20)	○ 1. ほぼ毎日のように 2. 数日に1回程度 3. たまに 4. ほとんどない
58 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目:38)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目:4)	○ 1. 大いに増えている 2. 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くない
59 利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目:36,37)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66 職員は、活き活きと働いている (参考項目:11,12)	○ 1. ほぼ全ての職員が 2. 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目:49)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目:30,31)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	○ 1. ほぼ全ての家族等が 2. 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどできていない
62 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目:28)	○ 1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価および外部評価結果

[セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。]

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	地域密着型サービスの役割を理解し、事業所独自の理念を常に目の届く場に掲示し共有して、利用者のサービス提供に努めている。		
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の一員として、町内会に加入し、行事に参加している。また、隣のデイサービス利用者との交流を行っている。		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に役場の職員、地域包括支援センターの職員、民生委員等の方が参加し、地域の認知症の方々の色々な問題の相談等に関わっている。		
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2ヶ月に1回開催し、利用者の状況やホームの取り組み等を報告すると共に、出席者に会議の意義や役割を理解してもらうよう努め、様々な意見を出して頂き、サービスの質の確保や向上に繋げる努力をしている。		
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	運営推進会議に毎回出席して頂き、意見交換や情報の交換を行っている。		
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実現 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	外部研修に参加している他、内部研修で身体拘束について勉強会を行い、全職員が理解している。また、身体拘束を決して行わないという意識を持ち、日々のケアを提供している。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について	外部研修に参加している他、内部研修で虐待について勉強会を行い、全職員が理解し		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年	外部研修への参加の他、内部研修で勉強会を開催し、理解を深めている。必要に応じ		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や	サービス利用時の契約の際に、事業所の理念や方針について説明し、利用者の同意		
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並	面会時や電話、お便り等で暮らしぶりの報告を行い、意見や要望を確認している。ま		
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や	職員から出された意見は速やかに代表者や事務長に伝え、運営に反映させるように		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤	年2回人事考課を行い職員が向上心を持って働けるように、環境・条件の整備に努め		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実	法人内外の研修を受ける機会を確保し、日々のケアに活かせるよう、全職員に周知		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機	年1回、他町村のグループホームとの交流会を実施し、職員と利用者の交流を図って		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困って	初期の段階で、まず施設見学をして頂き、困っている事や不安に思っている事等を聞		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が	初期の段階で、困っている事や不安に思っ ている事等の要望を伺い、相談にのりなが		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族	初期の段階で、御家族や御本人、担当ケア マネや利用していたサービス機関からも情		
18		○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置か	日常生活の中で、利用者の残された能力を 見極めており、掃除・茶碗洗い・茶碗拭き・		
19		○本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置か	面会時に御家族に状況を報告したり、また 変化や本人の希望がある時などはその都		
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場	御家族からの情報の他、利用者の意向等 を日々の生活の中から聞き取りをして、把		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立	利用者が孤立しないように職員が中に入 り、利用者同士が円滑な信頼関係が築ける		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関	御家族より相談等があった場合はサービス 終了後でも相談にのっている。また、必要		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握	御家族からの情報収集や利用者の日々の 暮らしぶり等から、利用者の意向を汲み取		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活	その方の生活歴や暮らし方、環境につい ての情報を収集し、その人らしいサービス支		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する	入居時の情報や御家族からの聞き取り、ま たは入居後の日々の観察等により、個々の		
26	(10)	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方	変化していく利用者の状態に合わせたケア の工夫を担当者会議で具体的に話し合い、		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を	毎日の申し送りや記録にて情報を共有して いる。また、担当者会議で利用者の状況を		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズ	その都度話し合いを行い、一人ひとりの ニーズに柔軟に対応出来るよう努めてい		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握	地域のボランティアの受け入れや、運営推進会議に地域の民生委員に出席して頂き、		
30	(11)	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納	御本人及び御家族が希望するかかりつけ医を受診出来るように支援し、適切な医療		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報	訪問看護との契約により、週1回、健康管理の為に来訪して頂いており、個々の利用		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるよう	入院時は、医療機関に情報提供を行い、御家族との連携を図りながら、状況の把握や		
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早	御本人や御家族の意向を尊重し、重度化した場合に向けて入所時に十分に説明をして		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職	利用者の急変時に備え、AEDを備えている。また、応急手当や初期対応に備えてマ		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず	消防訓練を実施している他、日頃から各ユニット毎に落ち着いた対応が出来るよう、ミ		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシー	本人の気持ちを大切に、一人ひとりにあった声掛けや、プライバシーを損ねる事		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、	利用者個々の希望を尊重している。また、日々の生活の中で、利用者が思いや希望		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一	各利用者の残された能力を見極めながら、御本人の希望に合わせた生活支援をして		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう	着る服の選択や、髪染め、希望の美容院等を利用出来るように支援している。		
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好	食事への関心を引き起こせるように、献立にも利用者の希望を取り入れたり、日頃か		
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて	利用者一人ひとりに応じた量・栄養バランス・水分量・塩分量・嗜好等を配慮してい		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一	1日3回、食後の口腔ケアを実施している。自力で出来ない所は介助にて行っている。		

自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとり	排泄チェック表にて利用者の排泄パターンを把握し、トイレの声掛け・誘導を行っている		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工	個々の排泄パターンを把握し、水分量の確保や適度な運動を取り入れて対応している		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を	入浴の声掛けをして、希望に合わせて時間をずらす等、個々の意向で入浴出来るよう		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じ	入浴の声掛けをして、希望に合わせて時間をずらす等、個々の意向で入浴出来るよう		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用	各利用者毎に薬の説明書のファイルを作成しており、いつでも確認出来るようにしている		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一	利用者の残された能力を見極めて、それぞれに合った役割をして頂いている。		
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出か	散歩や希望があった時の外出を支援している。また、食事会・買い物・花見等の希望を		



自己	外部	項目	自己評価	外部評価	
			実践状況	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解し	お小遣いを預かり、外出の際に使ったり、希望した物を一緒に買いに行っている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙	手紙のやり取りが出来る利用者には、葉書を渡して書いてもらい、職員はポストに投函		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴	利用者にとって過ごしやすい環境を整えている。季節を感じる事が出来るように花や		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利	居室が個室の為、一人になれたり、気の合った者同士が行き来して思い思いに過ご		
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相	人居前から愛用している物を持ってきて、一人ひとりにあった居室作りを行い、安心し		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかる	施設内はバリアフリーで手すりも設置しており、安全に移動する事が出来る。目印は		